

刊夕日四廿月五

常警日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五字一円 十字一円五角 二十字一円八角 三十字一円八角
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常警日新聞社 電話 六三〇
 印刷所 常警日新聞社 印刷

如來の本願力

真繼雲山

『三界唯一心、心外無別法』の趣旨を如何に説明するにせよ、現に心の對境として一切萬物があるではないかと論者はいふ。常識論としては尤もではあるが、その對境たる山川國土も生死榮落もことごとく一切合切それは己れの心が左様に現象してゐるのである、心がなければ對境はない。自分の心が無い以上、自分としての對境はないであらうが、他人の對境は依然として、自分の心と没交渉に存すると考へる—その考へそのものも矢はり自身の影像に外ならぬ。私が死んで、私の心が無くなつても、矢はり机も火鉢も残るではないかといふ考へも矢はり自分の心がつくり出す影像に外ならぬ。斯う説きつめて來ると、一切萬物はないが心だけはあるといふことに落ちつく、それを對句としてあらはしたのが『三界唯一心、心外無別法』である。もう少し考へを進めてみる自分の書齋に入つたとき、それがまつくらの暗室であつても、机火鉢があるといふのは、心が影像してゐるのである。ところが未だかつて入つたことのない眞つ暗な他人の書齋に入つても、心に影像することが無いから机火鉢の姿はあり得ない。見えないがざり無いと斷ずるの外はない。有りさうだといふのは架空の想像である。星の世界に人間がすんでゐるが何うかといふに、有りさうだといふのは地球から類推した架空の想像である。地球人は未だかつて實驗せぬのだから無いと考へるの外はない。この場合無いと考へることは、事實上無いことを意味する。空間にはエーテルの代りに怪神があるかも知れぬが、何人の心にもこれを影像するに由ないから、空間に怪物はゐないと考へる。無いと考へることは事實上無いことを意味する。天體の星は何億ありと天文學者は説明するが、それ以上は未だ實見したことがないから、心につくり出しやうがない。故に星は何億しかないかと考へてゐる。それは私たちに取つて事實上何億しか無い話になるのである。有無の見は心がつくり出すのである。心がくり出さないものは有り得ようがない。他人が怒つてゐるといふも自分の心に怒つてゐる他人の心を現像してゐるのである。その證據には如何に他人が怒つてゐようと、當方でそれを永久に知らぬなら、彼れが永久に怒つてゐないといふ事實に歸着する。この意味からいへば、女房や子供や友人の姿が自分の心の影像であるばかりでなく、妻子友人の心も亦た自分の心の上につくり出してゐるところに外ならぬ。これが唯識論の第一章であつて、その結論が心外無別法といふことに歸する。三世因果とは、惡事をはたらいた報ひで以つて來世には犬や猫に生れ變るといふ語ではなく、來世においては現世に於ける業報に相當する心の展開を見るとき、ことである。畜生の腹に宿るのではない果體相應の人生觀をつくるのである。斯く觀じ來るとき、私たちが心以外に、これが自分であると執着すべき何物もない。有るのは心だけであり三界とはその心の所現である。開悟といひ解説といひ成佛といふのは、その心源に徹することである。開けば八識として説明し得るも約すれば阿頼耶識といふに歸する。阿頼耶識とは眞識眞如を體とし、縁によつて現起する。人生といひ森羅萬象といふのは、その縁起

の展開である。既にして展開なり、その本源こそは人間の見聞覺知をはなれたものであり、その本源をたづねさかのぼるとき、私はそれを如來の本願として潜仰する。その本願力に依ほされて一心はあり一心展開して萬象映現す。一心と本願力と名は二にして體は一なりと知るところに私の宗教がある。

是非御利用を

營業時間午後九時迄

平町四丁目河岸通り
三井質店
 電話六〇六番

撰當

五月節句の御祝品も安く良いので!!!
 御座敷 形 鯉
 武者人形
 金太郎人形
 外 のぼり
 布
 平町四丁目
スガノヤ提灯店
 電話九五

付仕舞に店

商品全部三割から五割引
 今回都合により店仕舞ひすることになりました。つきまして平素特別の御厚情に預りまして御禮として二十三日より三日間商品全部三割から五割引と云ふ投げ賣りに近い値段で販賣いたしますから賣れ切にならぬ内にお早く御買上げ願ひます。
 拾圓もする高級品が五圓で買ひると云ふことは又とない好機です。
 平町田町 (電話五一五番)
高野分店



平町會議員候補者
關内正一君を推薦す
 推薦者 平町二丁目
 鈴木 堅助
 田卷 酒之助
 三井 文吉
 石川 友次郎
 丹野 榮三郎
 關内 慶次郎
 坂田 藤助
 長瀬 延太郎
 里見 金太郎
 責任者 平町二丁目十三番地 丹野榮三郎

農業技術員を招き

農村更生の大評定

來月一日団体事務所樓上で

石城郡農會では縣農會と協力して農村經濟更生對策として來月一日團體事務所樓上に郡下各町村農業技術員指導員六十二名を招集通苗代廢止獎勵、小麥増殖、自給肥料其他一般農事改良法等に就いて協議を行ふと協議事項左の如くである

- △本年生産の處理の件
- △通苗代廢止の件
- △小麥菜種販管検査施設の件
- △小麥増殖獎勵事業の件
- △水田二毛作普及獎勵の件
- △自給肥料改良増産獎勵の件
- △米麥雜穀菜種紫雲英等の原種並更新計畫の件

アワビ採取

來月一日から解禁 石城郡下各海岸の鮑採取は來月一日を以て愈々解禁となるので江名漁業組合では去る廿一日午後より組合事務所にて幹部會を開き採取法を協議の結果本年は各海岸共鮑の繁殖率が例年よりも多いので漁村の自力更生の意味から期間中は採取に全力を盡させるべくなつた

小麥・菜種にも移出検査を行ふ

七月一日から實施

平穀物検査所では今回改訂された穀物検査規定に依つて從來の産米検査以外に小麥菜種の移出にも検査を行ふ事となり七月一日より是が實施を行ふ事となつたが検査料は一俵に付小麥四錢菜種三錢の割で實施されるが同所管内の小麥栽培は最近非常な發達を見て居るもので七月の實施期よりは産米検査料同程度の検査があるものと見られて居る

『理想郷』發刊

郡中堅農機開關紙は石城郡中堅農民講習會同窓會員三百餘名は過般の總會を以て理想教化實現援助機關として近く會誌『理想郷』を發行する事となつたが當分編輯所は夏井村字上大越鈴木武夫方に置く

繭輸送に就て

營業者と懇談 石城郡上遠野村養蠶實行組合では山間部落だけに例年の繭運輸を貨物自動車營業

古川傳一氏

植田町長決定

植田町にては今二十四日町會を招集町長選舉を行つた結果十對八で古川傳一氏町長に決定した

玉川村々長

駒木根氏重任

石城郡玉川村では本日午前十時より村會を招集八年度匡數事業並に來る六月を以つて満期となる村長駒木根忠三氏の改選を行つた結果満場一致で再選と決定した

金澤訓導出席

平第二小學校訓導は去る二十一日より三日間東京高師附屬小學校に於て開れた全國修身科協議會に出席した

關東北愛犬品評會

六月四日魚市場跡に開催

警城愛犬俱樂部では來月四日平町大工町魚市場跡に於いて全關東北愛犬品評會を開催各種優秀犬五百餘を出品せしめる事として盛會を豫想されて居る

新金融機關

平町十五丁目に生る

平町十五丁目の新金融業常磐モリス商工助成會社では中小商工業者及俸給生活者へのモリス式金融法及び各種貸付業を開始したが平町最新の新金融機關として大いに期待されてゐる

第二校職員

郡下小學校視察

平第二小學校にては來月中旬教育の參考に資すべく全職員を四班に分ち本郡下に於ける模範校を視察する事になつたが校長及び主なる視察点は左の如くである

外 科 婦 人 院 井 坂

平 町 田 町

電 話 五 五 九 番

小名濱大敷

投網開始

小名濱町大敷網では昨二十三日から投網を開始したが豊間四倉各大敷が鯛の大漁を連日續けてゐるのでこれ又大漁を期待されてゐる

警女の廉價

警城高等販賣大受け 女學校購買部にては目下商品整理の爲め白洋傘其他各商品の廉價販賣をなし生徒の人氣を博してゐる

平町人事

- 回 出 生
- △一丁目二 志賀一雄氏長
- 回 婚 姻
- △一丁目二 志賀一雄氏
- △一丁目三 志賀一雄氏
- 回 死 亡
- △五丁目一三 當時東京市城東區龜戸町一ノ七四
- 酒井保則(一ツ)

ある經營法 職員の研究 講習會に出席 警城高等女學校教諭内村理氏は本日午前八時より神谷農事試験分場に於て陸軍省糧秣廠主催の下に開催された小麥粉食料講習會に出席した

來る三十日執行せらるべき町會議員選舉に際し警陽野球界の恩人吉田金作氏には舊城跡、八幡小路兩區民の熱誠なる推薦により遂鹿戦場に出馬決意致され候 御承知の如く同氏は三十餘年我海運界に身を置き日本郵船會社の名船長として東西兩半球の貿易港に足を印せざるなき國際人たるのみならず殊に歐洲大戰當時はコレヤ丸船長として獨乙エムデン號の慘禍におびゆる歐洲航路に幾度の航行を重ね何等禍無きを得たる剛膽の人士に御座候 今や功なり名遂げ悠々故山に自適する境涯にありながら郷土愛に燃ゆる同氏が警陽野球界向上の爲に貢獻せる功績は吾等アナン一同の感激する所に御座候 如斯大陸的な氣宇と眞摯なる信念を持つ純情の郷土人こそは町會の淨化を計る最適任者と信じ推舉するものに候日進歩進展の途上に在る平町政刷新の爲め又警陽野球界向上の爲めにも實に重大なる意義を有する事なれば御賢察被成下大多數を以つて當選の榮冠を得せしめらるゝ様御援助賜り度懇望する次第に御座候 昭和八年五月 敬 具

警陽野球後援會有志

- 阿部政右衛門
- 新田目春松
- 柴田友次郎
- 石川友次郎
- 井坂久吉
- 熊謙次郎
- 高木忠三郎
- 外幹事 一同
- 責任者 福島縣平町長橋町七 高木忠三郎

懸賞尋不白轉車

弊店名義新品車 一臺 鑑札番號 福島縣一〇四、二八〇番 平 六、九四一 右新品自轉車ハ去ル三月二十二日購入セシガ、四月八日以來行衛不明トナリシ故、發見御知ラセ下サレシ方ニハ懸賞金五圓也。御届ケ下サレシ方ニハ下ナタニ不拘金拾圓也ノ懸賞金ヲ差上ゲマス。 平町三丁目北裏(元郵便局裏通リ)



漆器商 各國産

共榮漆器店

負債整理組合を設け

借金を整理せよ

夏井村中堅農民の叫び

石城郡夏井村の中堅農民同窓會員は同村の經濟更生策としては今回着工される夏井川改修工事の有利なる活用を唯一の好機であるとし是の程全村に對して左の如き聲明書を發表した

住みよき夏井村の建設は一、今回着工されたる夏井川改修工事の有利なる活用

本年夏井川工事費用十五萬圓餘
本村一ヶ年の生産物價格十六萬圓餘
諸君が此の二つの比較に依つて明なる如く匡救工事が正に良き更生の機会たる事を忘れてはならない

一、産業組合を組織し信用販賣購買利用農業倉庫の建設を遂げ

一、本村小學校の補習學校教育は時間の延長をなし公民教育の要旨を基とし本村歴史地理生産物増収法並に販賣の研究に力をそそぎ本村に適合した健全なる村民を養生すること

一、農業經營を多角形的改善し村民一般に實行組合を組織し専ら仕事は勞力の分配共同に力をそそぎ以て能率をあげ生産物の統制共同販賣の下に増収を計ること

一、負債整理組合を組織し負債整理並に他町村の土地となりたるものを本村民の土地に復活する方法を講ずる事

一、消費節約公利經濟を斷行し自給自足生活の擴充を計り生活の改善をす

一、本村統治者村會議員本村有力者各種團體長は村民の精神訓練に力をそそぎ自力更生以て本村の刷新を計る事

一、各項の實行を計る爲農事指定員を招致し村内の相互連絡を計り各項の進捗に力をそそぐ事

一、村統治者は各項の統制を計る爲専心村内を巡視し其の完成を期する事

相變らず多い 眞砂は盡ても

これはかりはなかく

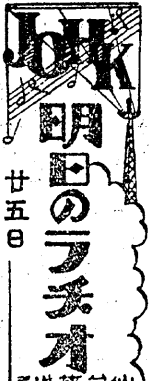
平刑務所のぞき

平刑務所のぞき

平刑務所に目下收容されてゐる人員は刑事被告支部五名區八名受刑者六名計十九名にて先月末の十一名に比し八名を増加し芳しくない傾向を示して居るが罪名は相變らず窃盜が首位を占め次は放火一、收賄一、強盜一、殺人一、傷害三、賭博一にして犯した罪の原因は懶惰五、酒色三、利慾二、貧困六、虚榮二、怨恨一等

周旋屋の横領

石城郡内郷村大字宮字白水坑夫山崎平太郎次女ハル(七)は去月中自稱湯本町三



今夜は北西の風晴
明日は北東の風晴
雲半す

今晩の部

お話新聞で拾つた話「柚木耶馬」
後六二五 ことばの講座「ことばの正しい読みかた話しかた」三神保格
後七三〇 講演

後八、〇〇 ラヂオコメディー田園四重奏「金平軍之助外演田園四重奏」
後八、四〇 三曲「岡康祐」
後八、五五 琵琶「伊豆の御難」飯田胡春詞 永田錦甲心鈴木平水

明日の部

後九、三〇 時報ニュース
氣象通報 番組豫告
前一〇、三〇 家庭講座「名士の訪問と應接について」長瀧武
後一〇、〇五 連續講談「森の石松」第一席 神田露山
後二、〇〇 婦人講座「婦人と法律」寺田四郎

決闘事件の判決

三十一日に延期さる

既報双葉郡廣野村大字上淺見川字小松三十二番地農根本末吉(三)に對する決闘殺人及び傷害致死事件の判決言渡し公判は本日開廷する筈の處裁判所の都合に依り來る三十一日午前九時に延期された

小作爭議

圓満に解決

既報石城郡玉川村大字岡小中野喜傳治が同村安立寺住職渡邊文彌を相手取り去る十日平區裁判所に對し此の度安立寺住職渡邊より小作料の請求を受けたが自分は壇家の一人にて壇家一同相談の上寺の爲めに世話になつてゐる小名濱町柳内兵

老婆の縊死

老衰を悲觀

石城郡小名濱町字船引雜貨商荒川清吉方同居人鈴木イト(七)は昨廿三日午前二時頃同居炊事場で縊死を遂げたのを死後発見されたが原因は老衰と生活難を苦にした結果であると

磐中生は平町が

一番多く席を占む

磐城中学校にては此の程全校生千七百七十四名の各町村別を調査した結果は左の如く斷然平町が一番多く郡外は双葉五十一名、茨城が二十五名である

平町三三〇 内郷一二三
湯本八八 好間六〇 四倉三六 大浦二四 小名濱四二 平窪一九 飯野

一二 神谷三一 夏井二五 高久九 草野三五
赤井三四 鹿島一四 磐崎二七 大野九 豊間一
一 玉川三 渡邊八 泉二九 江名一五 上遠野四 植田三八 錦一六
入遠野三 山田七 勿來三一 川部八 川前一
上小川五 下小川八 箕

市原醫院

平町 田町
電話 一一四番

兩親戀しさに

主人の金を持逃げ

石城郡好間村字上好間字町田居住大工職本間久治方雇入山形縣西村山郡和田村字置生れ古川忠敬(七)は去る廿二日午後九時頃家人の不在中兩親が戀しさの餘り主人の金八圓餘を持つて行衛を降したので本日平署に主人より捜査方を願ひ出た

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫
上田馬之助

第三百四十六號
一心に劍道修業

上田馬之助は新三郎を改心させる爲に種々奇策を弄したがそれが旨く當りま

新「先生、淺川は酒を飲まぬから茶ばかりすゝめまし



へて修業をする、すると翌年の三月の下旬のことでした

馬「さうか此邊では何處が宜いか」

○「いらつしやいませ、へエお上んなさいませお履物は此方へお預り申して置ませう」

女「お早いのが此の店の自慢でございます」

る、氣の短い者には宜しいな
新「さうですか、それでは松田で一盞やりませう」

女「ハイお陰様で賑でございます」

らう、先生、繁昌いたしません
馬「安いからな、オ、もう刺身と碗が来た」

美味！ 芳醇！ 宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

五月武者人形 特價大賣出し！

毎度格別ナル御同情ニ預リ難有御禮申上マス例年ノ通り御座敷職及布鯉御道具類等一式豊富ニ取揃陳列致シマシタ御得意本位主義ニテ特價ニ差上マス。御一覽ノ程御待テ致シマス。

星叶號 加藤提灯店
平町三丁目日本通り
落花生問屋

新發賣 志のぶ錠

しのぶ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇〇の外コシケ、子宮、内膜炎、腫加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事でも〇〇〇の豫防と治療の二重奏をなします

阿康藥舖
平古銀治町(電話四四番)

五月人形陳列會

◎非常時日本の心意氣 尙武人形
◎品と値で常に祝品界をリードするフクダヤの名作品を御覽下さい。
御座敷飾セット 六圓ヨリ百五十圓迄
武者人形 一圓ヨリ三十圓迄
金太郎人形 五十錢ヨリ十八圓迄
五巾外のぼり 十圓ヨリ四十五圓迄
大鯉のぼり 二圓ヨリ四十八圓迄
二丁目のフクダヤ

外科

専門線光 X
上田外科病院
平町南町
電話一二九番